

データでみるマンション管理実践講座 —「愛講者」に捧ぐトリヴィアー

管理組合に必要な知識や情報を、集合住宅維持管理機構の技術者が自身の経験をいかして発信するマンション管理実践講座が、今年第100回を数えました。スタートした2005年から今日に至るまでには、何度も繰り返して受講して下さった方や、年間のすべての講座に参加して下さった方も少なくありません。そんな「愛講者」の皆さんにも楽しんでいただけるよう、これまでのマンション管理実践講座を、データをもとに振り返ります。

1. 遠路遙々

大阪府下や兵庫県下からの受講者がほとんどなのですが、広島県や徳島県、愛知県など遠方からお越し下さった方もいらっしゃいます。

2. 会場色々

通常は事務局のあるビルの会議室で講座を開いていますが、年一回は神戸市すまいとまちの安心支援センター(協賛)の会議室をお借りしています。お間違えのないよう。

3. 最多連続

開講以来 39 回受講して下さった方が、2位 (38 回) と僅差で最多受講大賞に輝きました。連続受講記録は別の方の22回。これは当分塗り替えられそうにありません。

4. 集団受講

一つの管理組合から9人で参加されたことがありました。講座の内容を管理組合に戻って他の役員さんに報告するためには、複数名で受講しておいた方が心強いものです。「訪問型勉強会・相談会」もご利用ください。

5. 最多話題

大規模改修工事に関するテーマが全体の約3割を占めました。次いで多いのは、長期修繕計画、設備改修、そして組合運営と続きます。意外なことに、調査診断だけを取り上げたのは、12年間で一度だけでした。レアな講座(第42

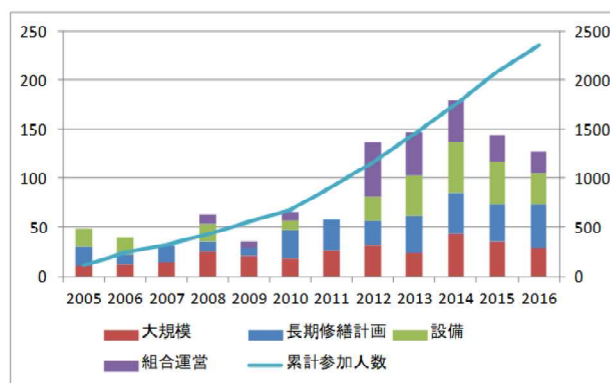
回: 2010. 3. 27) を聴かれた方、いらっしゃいますか?

6. 会場広々

最も参加者が少なかったのは、2006年11月の「新築マンション購入後の対応」(2名)でした。入居後間もないマンションの居住者に向けた講座はこれまでに2回あるのですが、どちらも“参加人数ワースト10”に入っています。早い段階からマンションの管理に関心をもってください!

7. 人数推移

2012年、それまで有料だった参加費を無料にし、1年間の講座スケジュールを年頭にまとめて公表するようになって以来、飛躍的に参加者が増えました。



開催数が多かった「大規模改修工事」、「長期修繕計画」、「設備改修」、「管理組合運営」の4テーマの参加者の推移をグラフにすると、「大規模改修工事」はコンスタントに参加者を得ていますが、近年「長期修繕計画」に関する講座への参加者が増加傾向にあることがわかります。いい加減な計画しかない、計画にあるからという理由だけで工事に踏み切ってしまった、修繕積立金が心許ない、計画を活用するための体制が整っていない、など長期修繕計画にまつわる多くのマンションの悩みが顕在化してきているとも読み取れます。



開催報告

マンション管理実践講座 第100回 マンション管理の実践 (4/22)

記念すべき100回目のマンション管理実践講座は「マンション管理の実践～修繕積立金を有効に活用した快適マンションづくりをするために～」と題して、北村順一主任専門委員(一級建築士)が長期修繕計画を正しく理解し、マンションの状態を把握しかつ展望をもって適正な時期に的確な工事を行うことが重要であると論じました。漠然とした長期修繕計画の見直しに注意喚起し、将来に備えた長期修繕計画を作成することと、それらを実行する継続性のある管理組合の体制づくりの重要性を述べました。また様々な観点から性能を向上させるための改修事例を紹介し、修繕積立金の有効活用を図ることが重要であると結論付けました。



マンションドクター®
 編集・発行：特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構
 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番27号 アイカビル4階
 TEL 06-4708-7790 FAX 06-4708-7791
<http://www.kikou.gr.jp/>



「マンションドクター」は商標法にもとづく登録商標です。